

2010年度(平成22年度)学校評価自己評価表〔最終評価〕

最終更新日	2011年(平成23年)3月4日
-------	------------------

校番 36	福山市立神辺西中学校
-------	------------

1 学校教育目標

豊かな心と表現力を養い、仲間と共に未来を創造できるたくましい生徒の育成

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

『福山市学校教育ビジョン』及び校訓『民主・創造・開拓』を基に、地域に信頼され、生徒・保護者より高い満足度で評価される活力ある学校づくりを推進していく。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

めざす生徒像 …… 自己実現に取り組む生徒
めざす学校像 …… 活力ある学校
めざす教職員像 …… 尊敬される教師
めざす授業像 …… 学力のつく授業

3 自校の現状分析

- (1) 学校経営会議や学校評価委員会を機能させることにより、校長の経営ビジョンを達成させるための体制はできつつあるが、今後は、その経営ビジョンに対する職員の自己申告書や、各部会の方針内容、日々の教育活動等を、さらに連鎖させていくための指導が必要である。
- (2) 県の基礎基本定着状況調査では、県平均と比較すると、国語-2.8ポイント、数学+4.2ポイント、英語-4.7ポイントで、国語・英語については厳しい結果である。しかし、教師の授業改善に対する意識の高揚が見られる。今後も県平均のクリアーをめざすために、新たに、集団づくりに視点を置いた授業改善や、家庭学習内容を授業と連動させる工夫に取り組む必要がある。
- (3) 生徒指導面では、組織的・機能的な取り組みができ、現在では、規律ある落ち着いた学校状況にある。しかし、常に荒れに対する緊張感を持ち続け、現状の生徒をさらに高めていく積極的生徒指導体制を確立させるために、集団づくりに視点を置いた具体的取り組みが必要である。

4 研究主題

(1) 研究主題

『集団づくりを通して、生活・学習意欲を高める。』
- 思考力・判断力・表現力を養う -

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
県	少人数プロジェクト(数学)	平成22年度
市	教育支援事業(全教科)	平成20~22年度
市	少人数指導支援事業(英語)	平成22年度

5 今年度の重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
生活集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> 授業や特別活動等において、教師対生徒の関係だけでなく、生徒間同士をつなぐことを意識した教育活動を展開することが重要である。そのことから、生徒間の相互理解が生まれ、さらに自己表現力や、生徒個々の自主性や自治的能力が養われ、生活意欲の向上につながると考えられる。
学習集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> 3年間取り組んできた「西中授業スタイル」をさらに進化させるために、これまでの教師主導から、生徒の力を引き出し、それを活用する授業スタイルが重要である。その具体的取り組みとして、集団思考や協働学習を授業の中で位置づけることが必要である。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・ 自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目 標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	(最終) 指標 評価	評価項目・指標等 短期(中期)経営目標 の達成状況 改善方策																													
確 か な 学 力	2	基礎・基本の定着		重点 見直し	学習規律の確立	B	学習規律のマニュアルの徹底(目標95%以上) (あいさつ、チャイム着席)	b	<p>チャイム着席の点検を6月・9月・12月に、あいさつに関する生徒アンケートを9月・12月に実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">チャイム着席</th> <th colspan="2">あいさつ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>98.4%</td> <td>9月 肯定的評価</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>98.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>99.1%</td> <td>12月 肯定的評価</td> <td>89%</td> </tr> </tbody> </table> <p>チャイム着席については目標値を超えているが、あいさつについては課題が残っている。 学習規律全般では徹底できた。 チャイム着席については引き続き徹底する。あいさつについては、期間を決めて点検活動をしていく。また、授業だけでなく、生徒会の自治活動としても取り組んでいく。</p>	チャイム着席		あいさつ		6月	98.4%	9月 肯定的評価	83%	9月	98.8%			12月	99.1%	12月 肯定的評価	89%													
					チャイム着席		あいさつ																															
6月	98.4%	9月 肯定的評価	83%																																			
9月	98.8%																																					
12月	99.1%	12月 肯定的評価	89%																																			
「基礎・基本」定着状況調査の結果で市平均を上回る	A	本時の目標に対しての生徒の達成度の把握 (知識理解B 評定以上の生徒割合75%以上)と課題克服のための取組み	a	<p>2学期終了時点においては、76%(全校)で目標は達成できた。しかし、3年生は目標達成できていない課題である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国</th> <th>数</th> <th>英</th> <th>学年</th> <th>全校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>86%</td> <td>83%</td> <td>74%</td> <td>81%</td> <td rowspan="3">76%</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>76%</td> <td>73%</td> <td>75%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>66%</td> <td>71%</td> <td>75%</td> <td>71%</td> </tr> </tbody> </table> <p>C評定生徒に対する手だてとして、午後学活の時間、夏期休業中に補充学習を行った。 基礎基本定着状況調査は市平均以上で、目標を達成できた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市平均</th> <th>本校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>76.4%</td> <td>79.0%</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>70.5%</td> <td>75.4%</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>68.3%</td> <td>69.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>C評定生徒への補充学習を、引き続き全校で週1回行っていく。 (午後学活を活用)</p>		国	数	英	学年	全校	1年	86%	83%	74%	81%	76%	2年	76%	73%	75%	75%	3年	66%	71%	75%	71%		市平均	本校	国語	76.4%	79.0%	数学	70.5%	75.4%	英語	68.3%	69.9%
	国	数	英	学年	全校																																	
1年	86%	83%	74%	81%	76%																																	
2年	76%	73%	75%	75%																																		
3年	66%	71%	75%	71%																																		
	市平均	本校																																				
国語	76.4%	79.0%																																				
数学	70.5%	75.4%																																				
英語	68.3%	69.9%																																				

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	(最終) 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況																					
							家庭学習の充実(1日1時間以上の生徒割合75%以上)	c	今年度の3回の生徒全員を対象とした調査等で、家庭学習についての意識付けはできたが、目標の75%が達成できたのは全クラスの三分の一で、まだまだ結果が伴っていない。 <table border="1"> <tr> <td>6月</td> <td>1年</td> <td>87%</td> <td>2年</td> <td>84%</td> <td>3年</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>1年</td> <td>73%</td> <td>2年</td> <td>45%</td> <td>3年</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>1年</td> <td>63%</td> <td>2年</td> <td>47%</td> <td>3年</td> <td>65%</td> </tr> </table> 各教科(5教科)で毎時間20分程度の宿題を出し、家庭学習につなげていく。また、家庭学習の手引きを提示し、さらに生徒同士の学習方法の交流をすることで、学習意欲の向上につなげていく。	6月	1年	87%	2年	84%	3年	30%	10月	1年	73%	2年	45%	3年	58%	12月	1年	63%	2年	47%	3年	65%	
6月	1年	87%	2年	84%	3年	30%																									
10月	1年	73%	2年	45%	3年	58%																									
12月	1年	63%	2年	47%	3年	65%																									
	1	思考力・判断力・表現力を高める		継続	自分の考えを論理だてて表現できる生徒の割合を75%以上にする	B	年5回の研究授業、また学期1回の授業交流旬間で、授業展開において集団思考による意見発表の場を設ける。	a	計画通りの研究授業・授業交流旬間を行い、授業参観シートの集計の結果、100%集団思考や協働学習の場を設けている。研究授業や交流旬間での発表については、論理だてて表現できていた。集団思考による意見発表を効果的に行うために、次の取り組みをしていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・小集団での意見交流の際ホワイトボードの活用と、誰もが意見発表できるよう指導を繰り返す。 ・発言マニュアルを教室掲示し、その定着を図る。 ・図やグラフなどの資料を用い、深く考えさせる設問をする。 																						
							1分間スピーチを1人学期1回実施し、事後指導として感想文を書かせる。	a	計画通り学期一回実施ができた。スピーチの構成に自分の考えの根拠を入れることにより、論理的に表現することを意図した。学活で話し合い活動を取り入れ、自分の考えを発表する場を設ける。発言マニュアルを活用した話し方を指導する。																						

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	(最終) 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況																												
豊かな心	3	豊かな生活をするための環境づくり	重点 見直 し		環境美化活動の充実	B	清掃マニュアルを作成し、毎週金曜日に清掃リーダーの指導を行う。	b	<p>清掃マニュアルは作成することができた。 掃除リーダー会を全クラスとも週1回実施することで、リーダーとしての自覚が高まってきた。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="3">掃除を一生懸命やっている</th></tr> <tr><th>よくあてはまる</th><th>ややあてはまる</th><th>合計</th></tr> <tr><td>27%</td><td>53%</td><td>80%</td></tr> </table> <p>校舎内外ともに整えられてきた。環境美化・整備に対する民生委員による評価(アンケート)が次のようになっている。 (10月8日実施)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>校舎外</th><th>校舎内</th><th>教室掲示</th><th>掲示板の工夫</th></tr> <tr><td>よい</td><td>58.3%</td><td>62.5%</td><td>50.0%</td><td>58.3%</td></tr> <tr><td>ややよい</td><td>41.7%</td><td>37.5%</td><td>50.0%</td><td>41.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> </table> <p>掃除リーダーを班長が兼ね、班長会で一週間の反省を行う。また、グループで声を掛け合うなど、環境美化の意識が高められるよう取り組んでいく。</p>	掃除を一生懸命やっている			よくあてはまる	ややあてはまる	合計	27%	53%	80%		校舎外	校舎内	教室掲示	掲示板の工夫	よい	58.3%	62.5%	50.0%	58.3%	ややよい	41.7%	37.5%	50.0%	41.7%	合計	100%	100%	100%	100%
							掃除を一生懸命やっている																															
よくあてはまる	ややあてはまる	合計																																				
27%	53%	80%																																				
	校舎外	校舎内	教室掲示	掲示板の工夫																																		
よい	58.3%	62.5%	50.0%	58.3%																																		
ややよい	41.7%	37.5%	50.0%	41.7%																																		
合計	100%	100%	100%	100%																																		
部活や学級を単位とした、校内一斉美化活動を月に1回行う。	b	<p>月1回の校内一斉美化活動を行なうことができた。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th></tr> <tr><td>学級</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>部活</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>12月を除いて、毎月実施することができた。 生徒会活動とリンクさせながら、これまでの取り組みを継続する。</p>		5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	学級										部活															
	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月																													
学級																																						
部活																																						

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (成果 取り組み 成果と取り組みに着目)	(最終) 指標 評価	評価項目・指標等 短期(中期)経営目標 の達成状況 改善方策												
	1	積極的な生徒指導体制の確立	重点 見直し		不登校生徒の人数を昨年度より減少させる	B	<p>月1回の生徒指導委員会を行い、不登校生徒をはじめとする生徒指導上の課題の早期解決を図る。</p>	b	<p>他行事との関係で時期は多少前後はしたが、実施できている。 実施日;4/2 5/13 7/8 7/22 8/25 9/3 10/22 11/9 12/6 1/6 2/1 昨年度年間30日以上欠席をした生徒は18名であった。今年度は17名である。(ともに2月末現在) SC・学校相談員と連携しながら、担任中心に家庭連携を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>平成21年度(2月末)</th> <th>平成22年度(2月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>5名(不登校1名)</td> <td>2名(不登校1)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>5名(不登校3名)</td> <td>5名(不登校1名)</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>8名(不登校4名)</td> <td>10名(不登校4名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>生徒指導委員会に位置づけ、毎月確実に実施できるよう計画をする。</p>	学年	平成21年度(2月末)	平成22年度(2月末)	1年	5名(不登校1名)	2名(不登校1)	2年	5名(不登校3名)	5名(不登校1名)	3年	8名(不登校4名)	10名(不登校4名)
学年	平成21年度(2月末)	平成22年度(2月末)																			
1年	5名(不登校1名)	2名(不登校1)																			
2年	5名(不登校3名)	5名(不登校1名)																			
3年	8名(不登校4名)	10名(不登校4名)																			
							<p>年2回(6月,10月)のQUアンケートを実施し、その活用を通して学級満足度の向上を図る。</p>	b	<p>QUアンケートを6月7日に第1回目、10月に実施予定をしていた第2回目を11月15日に実施し、8月4日、1月6日にアンケート結果を基に職員研修を行った。 アンケート結果から、課題克服のために2学期の第1週に全学年において構成的グループエンカウンターを取り入れた授業を行った。 学級集団における個別の状況についてのアンケート結果を活用し、要支援生徒を中心とした個人面談を行った。 学級満足群の割合が58%(6月)から55%(11月)に減少したことを受け、1月の職員研修で、毎週金曜日に全学年・全クラスで班長会を行ない、学級集団を高めるためのリーダーづくりの取り組みを今後も継続をしていく。 話し合い活動を充実させるために、短学活交流を2回(2学期・3学期)実施したが、次年度も継続をしていく。</p>												

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目 標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	(最終) 指標 評価	評価項目・指標等 短期(中期)経営目標 の達成状況 改善方策																																																												
					自主的・自律的な生徒の育成	A	月2回の朝会・月1回の生徒会新聞の発行を通し、生徒の自治意識を高める。	a	<p>ほぼ計画通り実施できた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全校朝会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年朝会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年朝会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年朝会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新聞の発行</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>朝会の運営・生徒会新聞の発行を通して、リーダーの育成を行っていくことができた。 各委員会活動や班長会などを通して、自主的な生徒の育成を図る。</p>	月	5	6	7	9	10	11	12	1	2	全校朝会										1年朝会										2年朝会										3年朝会										新聞の発行				x					
月	5	6	7	9	10	11	12	1	2																																																												
全校朝会																																																																					
1年朝会																																																																					
2年朝会																																																																					
3年朝会																																																																					
新聞の発行				x																																																																	
							生徒会委員会における月間目標の設定と点検をし、学期に1回の評価活動を行う。	a	<p>計画通りに実施できた。</p> <p>4/16 6/9 7/7 9/7 10/22 12/3 1/13 2/10 各委員会ごとに目標の設定・点検・評価を連動させて行なう事ができた。</p> <p>評価したことを次の目標に生かし、委員会活動を行っていく。</p>																																																												
健 や か な 体	2	たくましく生きるための健康・体力づくり		継続	体力・運動能力の向上	C	スポーツテストを年間2回実施し、そのうち1種目で向上した生徒を80%以上にする。	c	<p>評価したことを次の目標に生かし、委員会活動を行っていく。</p> <p>体育の授業における補強運動は継続して行なうことができた。</p> <p>持久走1,2回の比較による向上率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>男子(%)</th> <th>女子(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>94</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>53</td> <td>14.6</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>27</td> <td>9.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>単元の特性に応じた補強運動の内容改善を行うことができた。 福山市中学校新人駅伝競走大会に出場する生徒を対象に、2週間の早朝練習を行った。部活動ごとにチームを編成し、68名の生徒が自らの体力向上に励んだ。 強度の高いトレーニングを取り入れていく必要がある。</p>	学年	男子(%)	女子(%)	1年	94	42	2年	53	14.6	3年	27	9.1																																																
学年	男子(%)	女子(%)																																																																			
1年	94	42																																																																			
2年	53	14.6																																																																			
3年	27	9.1																																																																			

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	(最終) 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況																								
力量 ある 教 職 員	1	西中授業スタイル の確立		重点 見直し	授業改善に繋がる校内研 修の実施 (学習集団づくり)	A	研究主題を意識した校内授業研究の実施(年5 回)及び授業交流・参加型研修の実施(年3 回)	a	計画通り実施できた。 第1回授業交流旬間(5/31~6/11)第1回校内授業研究(6/14) 第2回授業交流旬間(9/6~9/17)第2回校内授業研究(9/17) 第3回校内授業研究(11/5) 第3回授業交流旬間(11/15~11/26) 第4回校内授業研究(11/26)公開研究会(2/17) ワークショップ型の校内研修を実施し、改善点を論議した。 集団思考〔話し合い活動〕のための「マニュアル」を活用する と共に、表現方法としてホワイトボードをどう活用すればよい か、校内授業研究等で研修した。 集団思考や協働学習を取り入れた研究授業を行い、授業改善に 繋げていく。																									
							年1回の講師を招聘した校内研修の実施	a	計画通り実施できた 8/23...授業改善について 9/1...学習集団づくりのマニュアル化 授業交流旬間や校内研修などを通して、常に「学習集団づくり」 の視点で研修を進めた。 講師招聘型研修だけでなく、先進地視察などを通しての研修 を入れていく。																									
市民から信頼される学校	1	学校評価を中心 とした学校経営		新規	評価項目に対するチェッ ク体制の確立	A	毎月末に、各項目に対するチェックをくりか えす。(点検結果の提示)	a	計画通り実施できた <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学期</th> <th>実施日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1</td> <td>4/26</td> <td>計画の確認</td> </tr> <tr> <td>5/25</td> <td>5月の進捗状況</td> </tr> <tr> <td>6/24</td> <td>6月の進捗状況</td> </tr> <tr> <td>7/8</td> <td>7月の進捗状況と1学期の反省</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td>9/27</td> <td>9月の進捗状況</td> </tr> <tr> <td>10/22</td> <td>10月の進捗状況・中間評価に向けて</td> </tr> <tr> <td>12/6</td> <td>11、12月の進捗状況・2学期の反省</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>1/12</td> <td>年間の反省</td> </tr> <tr> <td>2/3</td> <td>来年度に向けて</td> </tr> </tbody> </table> 進捗状況を意識して取り組めるようになった。 点検結果の提示が個人にとどまっているため、全体への報告・ 提示の形式に変更する。 進捗状況だけのチェックにせず、来月の取り組みの方向性の確 認をしていく。	学期	実施日	内 容	1	4/26	計画の確認	5/25	5月の進捗状況	6/24	6月の進捗状況	7/8	7月の進捗状況と1学期の反省	2	9/27	9月の進捗状況	10/22	10月の進捗状況・中間評価に向けて	12/6	11、12月の進捗状況・2学期の反省	3	1/12	年間の反省	2/3	来年度に向けて	
学期	実施日	内 容																																
1	4/26	計画の確認																																
	5/25	5月の進捗状況																																
	6/24	6月の進捗状況																																
	7/8	7月の進捗状況と1学期の反省																																
2	9/27	9月の進捗状況																																
	10/22	10月の進捗状況・中間評価に向けて																																
	12/6	11、12月の進捗状況・2学期の反省																																
3	1/12	年間の反省																																
	2/3	来年度に向けて																																

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	(最終) 指標 評価	評価項目・指標等 短期(中期)経営目標 の達成状況 改善方策																												
	1	開かれた学校づくり		新規	地域人材の活用人数を昨年度より増やす	A	各学年1回以上、ゲストティーチャーを招いた活動を取り入れ、人材リストを追加作成していく。	a	<p>次のように活動を実施した。(12月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉体験学習</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防犯教室</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>協助員の話聞く会</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕事の話聞く会</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高校の先生の話聞く会</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>租税教室</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>地域人材リストは実績をもとに追加作成できた。 地域人材リストの活用人数も、昨年度より増加した。 民生委員(27名:10/8)・保護司(5名:11/15)による授業参観及び意見交流会を実施した。 地域や保護者と連携した取り組みを、さらに検討していく。</p>	内 容	1年	2年	3年	福祉体験学習				防犯教室				協助員の話聞く会				仕事の話聞く会				高校の先生の話聞く会				租税教室			
内 容	1年	2年	3年																																		
福祉体験学習																																					
防犯教室																																					
協助員の話聞く会																																					
仕事の話聞く会																																					
高校の先生の話聞く会																																					
租税教室																																					